

# 平成23年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	シルバー人材センター補助事業		基本目標	高齢者の生きがいづくり支援		
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	上杉真理	評価者	井上敏郎
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 高鍋町シルバー人材センターへの補助										
	意図・目的 団体への活動支援										
事業の内容	高齢者の働く場を提供している団体への活動費助成										
22年度決算額	2,015	千円	23年度予算額	2,015	千円	事業従事者数	H22	人	H23	人	
主な支出項目	補助金	2,015	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	0 千円			
			千円	県支出金		千円	23年度人件費	0 千円			
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		100.0	%	
			千円	一般財源	2,015	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		シルバー人材センター補助金						
	補助交付団体		高鍋町シルバー人材センター		補助金要綱						
	22年度	補助額	2,150,000	円	補助の形態	運営費補助	23年度補助額	2,015	円	終期	年度
		団体の決算額	115,072,193	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等						
補助の割合		1.9	%								
	繰越額	312,846	円								

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1	
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1	
	2	

## ◎達成状況

	指標名	単位	21年度	22年度	23年度
			目標値		
成果指標	0				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標	0				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	0				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	0				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	シルバー人材センター補助事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	----------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性) 高齢者の働く場を提供する団体への助成であり、高齢者の生きがいを与える場となっていることを考慮すると、行政による助成は妥当と考える。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性 助成することに対して成果が得られているかということであれば、有効であるといえる	◎目標に対して成果は得られているか	0	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性 助成事業であり不明	◎活動量の効果は実際に上がっているか	0	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性 助成事業に対する協働	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	2	-
合計(最高18点)		12	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性) 高齢者の働く場を提供していることを考慮すると、公益性はあると思われる。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	0	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		2	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	今後の方向性			
		拡充	現状維持	縮小	廃止
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	平成22年度のセンターの決算は厳しいものがあり、その中で高齢者の就労と生きがいの場づくりを継続するためには、継続して助成することが望ましい。				
			○		
		コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎補助金がない場合、減額となった場合に運営できないかどうかが判然としないが、少々の減額は可能だと思われる。 ◎今後法人組織として運営方針を転換し、その時点で事業事業評価対象外とするべきである。 ◎法人化するまでは現行通りでよいのでないか。 ◎各年度によりセンターの経営状態が左右されるため運営費補助として必要である。 ◎黒字になった場合の補助金返還や補助金額の見直しなど検討が必要である。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	